

記入例

教員個人調査書

履 歴 書			
フリガナ	ソウゾウ タロウ	性別	男
氏 名	創 造 太 郎	写真 <small>(最近3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽のもの)</small>	
生年月日(年齢)	1984年6月1日(満40歳)		
現住所	〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下〇〇番地		
携帯電話	090-****-****	メール	*****@gmail.com
学 歴			
年 月	事 項		
2002年4月	豊橋創造大学保健医療学部看護学科 入学		
2006年3月	豊橋創造大学保健医療学部看護学科 卒業 学士(看護学)		
2006年3月	看護師免許証 登録番号〇〇〇〇〇〇		
2006年4月	〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻修士課程 入学		
2008年3月	〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻修士課程 修了 修士(〇〇〇〇) 修士論文の題目「*****」		
2008年4月	〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻博士課程 入学		
2010年3月	〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻博士課程 単位取得後退学		
2012年3月	〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科 博士(〇〇〇) 博士論文の題目「*****」		
記入要領も併せてご確認ください。			
職 歴			
年 月	事 項		
2006年4月	医療法人〇〇〇会〇〇病院 看護師 (2010年3月まで)		
2010年4月	〇〇クリニック 看護師 (2012年3月まで)		
2012年4月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 助手 (2014年3月まで) 主な担当科目：〇〇〇〇		
2012年4月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 非常勤講師(〇〇〇論)(現在に至る)		
2014年4月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 専任講師(現在に至る)		
記入要領も併せてご確認ください。			

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
年 月	事 項		
2009年4月 2010年4月 2011年4月 2019年9月 2021年4月	日本〇〇学会 会員 (2018年3月まで) 日本〇〇〇〇学会 会員 (現在に至る) 日本****学会 会員 (現在に至る) 日本〇〇〇学科 第〇〇回学術集会 実行委員 愛知県豊橋市 〇〇〇委員会 委員 (現在に至る)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #cccccc;"> 記入要領も併せてご確認ください。 </div>			
賞 罰 ・ 処 分 歴 等			
年 月	内 容		
2020年9月	日本〇〇〇学科 第〇〇回学術集会 優秀発表賞 受賞		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部又は所 属部局の名称	勤務状況
〇〇大学	講師	〇〇学部	〇〇〇〇論 基礎ゼミナール 〇〇演習Ⅰ 〇〇演習Ⅱ
〇〇大学	非常勤 講師	〇〇学部	〇〇〇〇論
<p>本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します</p> <p style="text-align: center;">2024 年 10 月 1 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 創造太郎 印</p>			

【記入上の注意】

- 1) 記入要領を確認のうえ、記入すること
- 2) 賞罰・処分歴等の欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を起因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容およびその具体的な事由を必ず記入すること

記入要領も併せてご確認ください。

教育研究業績書

教育実践の主な業績について活動をまとめてください。
「年月日」の欄は、西暦でなく元号を用いて記入してください。

年 月 日

氏 名

印

研究分野

研究内容のキーワード

科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを三つ以内で記入してください。分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。

研究内容を表すキーワードを五つ以内で記入してください。

教育上の能力に関する事項

年 月 日

概

要

1 教育方法の実践例

大学・短期大学・大学院など高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入してください。

2 作成した教科書・教材

学生の理解を図るために作成し、また、授業や研修指導等において活用している教科書や教材を記入してください。

3 教育上の能力に関する大学等の評価

学生の理解を図るために行っている教育上の取り組みに対して、大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入してください。

4 実務の経験を有する者についての特記事項

外部と連携することによって成果を上げた教育に関する取り組みを記入してください。

5 その他

学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記に該当しないものを記入。また、大学教育改善に関する活動概要、教育実績に対する受賞歴など。現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）または大学教育高度化推進支援プログラムの申請書類作成担当者は、その旨を記述して下さい。
委員会活動として実施した事項は、原則含めず、含める場合も個別事案ではなく総括して述べてください。学内での打ち合わせについては原則含めないでください。

職務上の実績に関する事項	年月日	概 要
1 資格、免許		
2 特許等		<div data-bbox="225 696 874 748" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>特許、実用新案等で担当予定科目に関連するもの</p> </div>
3 実務の経験を有する者についての特記事項		<div data-bbox="225 1019 1066 1281" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>大学との共同研究 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績 各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員 行政機関における調査官等 調査研究、留学、海外事情調査等 芸術・体育関係者の場合は作品・発表の概要、社会的活動</p> </div>
4 その他		<div data-bbox="225 1464 884 1516" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>職能団体等からの実務家としての卓越性に関する</p> </div>

<p>著書、学術論文等は、「著書」「学術論文」「その他」の3つに区分、年代順（過去→現在）、できれば各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。</p>				
(著書)				
1. ○○○○○○○○○ ○○○ ～***** *****～	共著	2023年6月	△△△出版	※簡潔に200字程度で 担当部分：第○章 ……について 監修者：***** 共著者：豊橋一郎、豊川花子、 <u>創造太郎</u> 、田原次郎
2.				
3.				
4.	<p>①名称（タイトル）は副題まで正確に記入すること（タイトルが英文の場合は文末に括弧書で日本語訳を記入すること）</p>			
5.	<p>②発表年月は年代順（過去→現在）に整理して簡潔に記載すること</p>			
6.	<p>③概要部分については、簡潔な記載とすること（200文字程度）</p>			
7.	<p>④共著の場合は、本人担当部分を明示すること（担当部分の項目タイトル、掲載ページ数）</p>			
7.	<p>⑤監修者・共著者がいる場合は、書籍に記載されている執筆者記載順番に記載すること</p>			
8.				
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				
17.				
18.				
19.				
20.				

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
1. *****(修士論文)	単著	2008年3月	〇〇大学大学院 〇〇研究科〇〇 専攻修士課程	※簡潔に200字程度で
2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の研究(査読あり)	共著	2010年6月	日本△△学会誌 第21巻第1号 pp. 45-60	※簡潔に200字程度で 担当部分：本文執筆、データ分析 共著者：豊橋一郎、豊川花子、 <u>創造太郎</u> 、田原次郎
3. ●●●●●●●●●●に関する研究(博士論文)	単著	2012年3月	〇〇大学大学院 〇〇研究科〇〇 専攻博士課程	※簡潔に200字程度で
4.				
5.	<p>①名称(タイトル)は副題まで正確に記入すること(タイトルが英文の場合は文末に括弧書 で日本語訳を記入すること)</p> <p>②査読がある場合は「査読あり」と括弧書きで記載すること。また、学位を取得した際の 論文にも学位の種類を記載すること</p> <p>③発表年月は年代順(過去→現在)に整理して簡潔に記載すること</p> <p>④「発行所、発表雑誌等」の欄には掲載されている雑誌のタイトルと掲載ページを記載する こと</p> <p>⑤概要部分については、簡潔な記載とすること(200文字程度)</p> <p>⑥共著の場合は、本人担当部分を明示すること(タイトル)</p> <p>⑦共著者がいる場合は、発表資料等に記載されている順番に氏名を記入し、本人氏名に下線 を引くこと</p>			
6.				
7.				
8.				
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				
17.				
18.				
19.				

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の 名称	概 要
(その他) (学術発表)				
1. △△△△△△△に 関する検討	—	2022年7月	全国◇◇学会 第35回学術集会 (愛知県豊田市)	※簡潔に200字程度で (口演)
2. ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇	—	2023年5月	日本〇〇学会 第20回学術集会 (静岡県浜松市)	※簡潔に200字程度で 共著者：豊橋一郎、 <u>創造太郎</u> (ポスター)
3.				
4.	<p>①名称(タイトル)は副題まで正確に記入すること(タイトルが英文の場合は文末に括弧書 で日本語訳を記入すること)</p> <p>②その他業績については、単著・共著の別の欄に「—」と記載すること</p> <p>③発表年月は年代順(過去→現在)に整理して簡潔に記載すること</p> <p>④「発表学会等の名称」の欄には当該事項を発表したイベント名称と開催場所(市町村名 まで)を記載すること</p> <p>⑤概要部分については、簡潔な記載とすること(200文字程度)</p> <p>⑥共同発表の場合は、抄録等に記載されている順番に氏名を記入し、本人氏名に下線を引く こと</p> <p>⑦発表方法について括弧書きで記載すること(口演またはポスター)</p> <p>⑧学術発表以外のその他業績がある場合は、適宜、欄を追加して項目ごとに発表年月は年代 順に整理して簡潔に記載すること。その際の作成時の注意点は上記を参考にすること</p>			
5.				
6.				
7.				
8.				
9.				
10.				
(翻訳)				
1.				
2.				
(依頼原稿)				
1.				